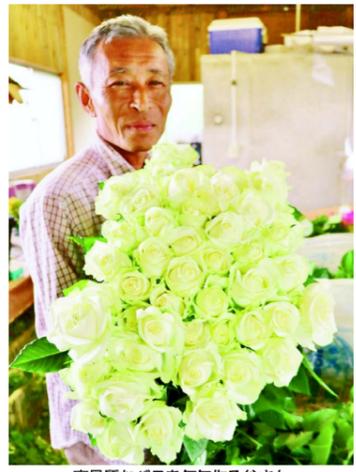


千村の谷茂さん・バラ 平沢の柳川賢治さん・小菊

花き農家が大臣賞W受賞



高品質なバラを毎年作る谷さん



2度目の大臣賞を受賞した柳川さん

県農業技術センターで16日、平成28年度花き関係褒賞授与式が開かれ、第39回神奈川県花き展覧会や平成28年度神奈川県花き立毛共進会の審査結果などが発表された。同展覧会では、千村の谷茂さんがバラで農林水産大臣賞、上大槻の小島美さんがアフリカンローズで県知事賞に輝いた。同共進会では、平沢の柳川賢治さんが小菊で農林水産大臣賞、千村の谷茂さんがバラで県知事賞を受賞した。

花色、芽の管理に高評価

千村の谷さんは、県花き立毛共進会の受賞歴を含め、今回3度目の農林水産大臣賞を受賞した。26坪ほどのハウスで11品種を栽培。同展覧会では、出品した「ミルナ」の花色や茎のしなやかさなどが高い評価を受けた。

谷さんは「これまで一に力を注いできた平沢の柳川さんは、45坪の圃場(ほじょう)で品質の高い小菊とケイトウを生産する。同共進会では、適切な芽の整理や肥料管理などが審査員から高評価を得た。

2度目の農林水産大臣賞を受賞し、柳川さんは



花苗を丁寧に植え付ける青年部

青年部が花苗植え

青年部は16日、JA本所に部員が栽培した花苗を植え付けた。同部が取り組む花いっぱい運動の一環で、部員14人が定植作業に汗を流した。部員は、ベチユニアやナデシコなど暑さに比較的強い10種280ポットを用意。草取りをして管理機で耕した後、防草用マルチを敷き詰めた。その後、1株ずつ丁寧に植え付けた。

秋には専用の花苗に植え替え、年間を通して地場産の花をPRしていく予定だ。

片野良勇委員長は「色鮮やかな花を植え付けることで、より多くの人がJAに来てくれたらうれしい。今後互いに協力しながら取り組みを続けていきたい」と笑顔で話した。



乗用摘採機で茶葉を刈り取る高梨さん

果樹部会茶葉部が11日、菩提の高梨茶園で全園茶品評会に出品する茶葉の代表として「普通煎茶(せんちゃ)」機械摘み10摘採機を走らせた。刈り

取る長さを慎重に調整しながら「やぶきた」の茶葉約70kgを収穫。生葉は時間の経過とともに風味が落ちるため、分担して工場に運搬し、約14日の荒茶に加工した。

高梨さんは「上位入賞を目指す。高品質なものを生産して、足柄茶の名声を高めるのに一役買いたい」と意気込んだ。

小菊を栽培する平沢の青木とし子さん。戸川で生まれ育ち、就職後は、平沢にあるJAの総合工場をパンづくりの仕事などに励んだ。1967年に結婚した後は、家族と共にハウスでカーネーションの栽培などに汗を流した。その後、オイルショックなどをきっかけに



平沢の青木とし子さん(78)

「おききさんです。農家の仲間やお客さんと話すことが元気の源」と語る青木さん。これから夫婦で協力しながら、品質に妥協せず、色鮮やかで花持ちの良い小菊を出荷していきたい」と意気込む。

J A はだの

発行所 秦野市農業協同組合(神奈川県)
〒257-0015 秦野市平沢477
電話 0463(81)7711(代)
編集発行者 宮永均

今月の特集 4~5面
地域一体食農教育サポート
JAは、市内の小・中学校、こども園などに野菜苗や生産資材を毎年提供し、子どもたちの農業体験学習を後押し。地元農家からも積極的に協力している。

メール情報配信サービス QRコードで登録を
JAはだの、携帯電話・パソコンなどのメールを利用した情報配信サービスと、営業・じばさんず・セレモニーホールなどのさまざまな情報を発信しています。上記のQRコードをスマートフォンで読み取ると、登録が完了します。



小野部長の作業場に並ぶ色鮮やかなカーネーション

伝統のカーネ産地 出荷最盛

県内有数のカーネーションの産地・秦野市で、14日の「母の日」を前に出荷が最盛を迎えた。花き部カーネーション部の部長は、採花や出荷などの作業に邁進中だ。

この道約50年の小野孝允部長

第13回JAはだの「農の魅力」写真コンテストを開催します。テーマは、「農業やJAの活動を通じたゆとり、やすらぎ、うるおい」を感じる魅力ある秦野の景観です。皆さんの写真(こんしん)の一枚をお待ちしています。

応募期日は2017年10月20日(金)まで。入賞作品は「農業まつり」で表彰と展示を行います。また、今年度からホームページにプリントしたものを受け付けます。詳しくは、組織教育課または各支所・支店までお問い合わせください。

自己改革の実践に一丸

全6議案が成立 通常総会 組合員の意思示す



多くの組合員が出席した通常総会

JAはだの22日、秦野市文化会館大ホールで第54回通常総会を開いた。JA運営を左右する最高意思決定の場である。その後、これまで協同組合員が出席した通常総会、正組合員1703人、内訳、本人735人、代理人20人、書面議決948人、准組合員632人、総会に出席した組合員数は3014人、正組合員11288人、准組合員11288人、お問合わせは組織教育課まで。☎81-7711

「おききさんです。農家の仲間やお客さんと話すことが元気の源」と語る青木さん。これから夫婦で協力しながら、品質に妥協せず、色鮮やかで花持ちの良い小菊を出荷していきたい」と意気込む。



自己改革の実践へ意気込みを語る山口組長

JAはだの22日、秦野市文化会館大ホールで第54回通常総会を開いた。JA運営を左右する最高意思決定の場である。その後、これまで協同組合員が出席した通常総会、正組合員1703人、内訳、本人735人、代理人20人、書面議決948人、准組合員632人、総会に出席した組合員数は3014人、正組合員11288人、准組合員11288人、お問合わせは組織教育課まで。☎81-7711

やえのちゃんびーなマンの「JAってなに??」

先月は「協同組合原則」の第1の原則について聞いたよね。やえのちゃん、今度は第2の原則について教えて。

第2の原則は、組合員による民主的運営よ。協同組合は、組合員みんなが平等の権利を持ち、みんなが義務を負い、みんなで相談して方針を決め、みんなで実践する組織なの。方針や意思を決めるときは、組合員が積極的に参加できるわ。今月開いた総会では、正組合員1人1票の平等な議決権で、運営方針を決めたの。多くのJAが総代会制を採用しているけど、JAはだのは創立以来、全組合員を対象とした総会制を継続しているのよ。

協同組合は、組合員みんなで参加して運営するものなんだね。ありがとう、やえのちゃん。来月は第3の原則について教えてね。

運営は組合員の力で



協同組合をテーマに熱心に講演する松岡理事長

協同組合講座今年も

学びの成果で地域づくりを

129人が受講

J Aはだの組合員は、仲間と共に学び協同事業の一環として取り、組合運動の精神を、年々、松岡公明理事長の「かたち」が協同組合の「かたち」に刻みつけていく。今年度は「学びの成果で地域づくりを」と題して講演した。今年度は、9人の人、その後、農林漁業演じた。

同講座は、組合員を対象に、農業やJ Aの基礎を学ぶ「組合員基礎講座」(2)農政や生活文化などを幅広く学ぶ「組合員講座」(3)組合員を講師として、より深い知識を身に付ける「専ら」(4)組合員、関係者ら8日に本所で開いた。全と円滑な施工を祈願、和宮司が神事を執り仕切った。



鎮入れの儀を行う山口組合長

部員の圃場巡回し 柑橘の着果を調査

栽培管理の意識共有

着花量や萌芽(ぼう)が状況など4項目を調査。着花量は、ほらつきが見られたため、例年、部員は今後の施肥管理や病害虫対策の徹底などについて意識を共有した。尾澤英太郎部長は「今後の栽培管理をしっかり行い、部全体で収量が伸びるように取り組んでいく」と話した。

親睦深める バードゴルフ大会

J Aはだの16日、市カルチャーパーク陸上競技場で「第7回バードゴルフ大会」を開催した。組合員の健康増進と親睦を深めることが目的、組合員ら36組133人が参加した。

果樹部会(かんきつ)部は15日、部員の圃場(ほし)を巡回し、柑橘の着花量を調査した。着花状況を確認する部員ら

苗を育ててもらおうと、常に心掛けて栽培管理を進めている。古谷さんは、野菜苗を手掛けて30年以上。毎年、定植シーズンの4月中旬から5月上旬は、栽培管理や出荷作業などに忙しい毎日。今年度は合計4万のハウスでナスやトマトなど15品目約3万ポットを育苗した。

「一生懸命育てた苗なので、大切に育ててもらいたい。子どもたちに収穫する喜びを知ってほしい」と期待を寄せている。



野菜苗の生育状況を確認する古谷さん

長年野菜苗を作る 収穫の喜び伝えたい

昔の古谷さんは、学配する時期に定植適期を把握し、播種(はら)を大切に育ててもらった。子どもたちに収穫する喜びを知ってほしいと期待を寄せている。



J A職員が仕分けた野菜苗を販売する様子

J Aが積極後押し 苗や資材を毎年提供

J Aは、1980年から3900本の他、トマトやキュウリの苗など約900本の苗を仕分けして提供している。今年度は小学校13校、8つの園、J A、中学校6校が開いた。リンは、農業者と連携して栽培指導や相談を促すため、収穫した野菜を販売する場も用意。希望者は、価格設定やP O P (店内広告) 制作などを自主的に、J A職員がサポートしている。

J Aはだの、秦野市内の小・中学校、こども園などに野菜苗や生産資材を毎年提供し、次代を担う子どもたちの農業体験学習を積極的に後押ししている。苗食農教育に力を入れている。

農家も協力 地域一体

初回は親子で野菜作り

ちやぐりん今年も人気



親子で協力してナス苗を植えつけた様子

13日には、食農教育の一環として取り組む「ちやぐりんスクール」の今年度のカリキュラムをスタートさせた。秦野市の農業や自然の素晴らしさを肌で感じ、J Aへの理解を深めてもらうことが目的。市内の小学校3、4年生を対象に開き、今年度は53人が受講する。同スクールは、地元農家やJ Aの女性部、青年部の協力の下、酪農体験や調理実習など全7回のプログラムを企画している。

園児に栽培を指導 熱心に年間10品目以上

西大竹の庭正敏さんは、食農教育に熱心に協力していた父から取り組みを引き継ぎ、活動をはじめた。中でも、みなみ園児の興味を引いた。大庭さんは「小さい頃の経験は今後、生きる糧にもなるので、これからも継続したい」と笑顔を見せた。



園児に野菜の植え付けを教える大庭さん

訪問して園児と共に栽培管理に励んでいる。11日には、同園の年長園児40人にトマトやピーマンなどの夏野菜の植え付けを教えた。水や肥料を「野菜の飯」と例えて日々の管理を解説し、農業に対する園児の興味を引いた。

相互の発展へ 女性部が交流

福島県J A東西しらかわを訪問

女性部は9、10の両日、福島県のJ A東西しらかわを訪れ、同J Aの女性部と交流を深めた。J AはだのJ A東西しらかわは昨年8月に「友好J A協定」と災害時相互支援協定を締結。両部は、連携をさらに強化することで、相互の組織の発展につなげていく考えだ。



J Aはだの女性部が福島県J A東西しらかわを訪問し、交流を深めた様子

同J Aの直売所「みり」をよく満点物語りで交流会を開き、互いの女性部活動を発表するなど、役員17人が積極的に情報交換をした。その後、同店や植物工場「みり」や満点物語りの家「みり」を見学した。

面会は今後、互いの農業まつりなどに参加し、さらなる交流を図っていく方針だ。

発見 和民

店を地域の憩いの場に



東田原で全日食チェーン「和民」を営む和民勝男さん(63)と千春さん(58)は、勝男さんの母が営んでいた駄菓子屋を1995年にコンビニエンスストア「和民」にリニューアル。以来、夫婦で力を合わせて店を切り盛りしている。きつかけは、当時「コンビニエンスストアがなかった」ので、経営してみたかった。酒・たばこの販売免許を取ったことをきっかけに、母から受け継いだ店の経営形態を愛する。お弁当や総菜を値上げしないこと。そのため、経営削減を目指す。



タケノコの水煮を使って完成させた料理

勝男は経営、千春は弁当などの製造と、役割を分けています。2人で意見を出し合っている。店づくりをしながら、でなくてはならないパートナ。支え合っています。きつかけは、お弁当や総菜を値上げしないこと。そのため、経営削減を目指す。

高橋由美子代表は「消費者に安全な活動と地産品の安全・安心を伝える良い機会。力を入れて取り組んでいきたい」と意気込みを話した。

東田原の「和民」和民勝男さん(63)と千春さん(58)

「仕事内容は?」店内で手作りした弁当や総菜の販売を中心に、野菜や酒・たばこなどを扱っています。地産地消型食料品店を目指しています。

「2人の役割は?」勝男は経営、千春は弁当などの製造と、役割を分けています。2人で意見を出し合っている。店づくりをしながら、でなくてはならないパートナ。支え合っています。

「北婦会」代表 多田 百合子 私たちは5人で結成している小さなグループです。高齢者の人たちに楽しんでいただくことを目的に、J Aデイサービスセンターはだの地域の施設で、踊りや歌などを披露してボランティア活動をしています。

「77歳(喜寿)」▽大根地区II飯野車次(南矢名) 三竹繁宏(北矢名) 松井未知子(北矢名) 〆本町地区II三川千代(菅原) 〆西地区II尾上美代子(春日町) 小島功(沢沢) 〆上地区II川路輝義(喜寿) ※自己申告ですので、該当の方は各支所・支店までご連絡ください。



春の座談会(波多川御堂)



発行所 秦野市 農業協同組合 (神奈川県) 〒257-0015 秦野市平沢477 電話 0463(81)7711(代) 編集兼発行者 宮永 均



目次 1面: 営農関係 2面: はだの都市農業支援センター・店舗販売・生活福祉・経済・葬祭関係 3面: 信用・融資・共済・改革推進関係 4面: 総務・企画・組織教育・総合リスク管理関係

組合員と共に組織活性化へ

JAはだの「春の座談会」を4月7日(金)から19日(水)まで、市内83会場で開催しました。座談会には、全体で1,274人の組合員が出席し、644件の意見・要望が寄せられました。

主には、営農経済改革の取り組みや役員体制整備などについて多くの質問および意見がありました。これらの意見・要望は、担当部署や担当部会で検討を重ね、さらに理事会で協議しました。ここに主なものを報告します。

農家所得の向上に向けて

意見 農家の所得向上のためのキャンペーン、輸入肥料の試験導入などに取組んでいるのか。(本町・北)

意見 「はるみ」の供給を拡大してほしい。(東・西)

意見 必要最小限の施肥が可能となれば、生産コストの低減につながる。土壌診断の活用を促してほしい。(南)

意見 TAC(農業の担い手)出向への価格対策を実施したのか。また今後とも利用頻度の高い資材などを継続的に実施してほしい。(南・北・西)

意見 JA全農と系統外業者との相見積もりを取り、資材・農薬の価格の見直し、肥料・農薬の大口値引きの導入や電気柵に対する助成金などの対応をいたしました。今後も継続的に実施していくとともに、系統組織を挙げ前向きに取り組んでいきます。

意見 販売力の強化と生産資材価格の「キヌヒカリ」が規格外となつてしまったが、規格外で出荷した玄米はどのような扱いになるのか。また、農業共済の補償対象にはないのか。(大根・本町・東)

意見 果産米「はるみ」が、食味ランキングでAを獲得したことが、JAは普及拡大していくのか。また、学校給食への対応も考えているのか。(大根・東・北・本所)

意見 2020年開催の東京オリンピックに関する食料の農産物について、グローバルGAP(農業生産工程管理)の認証を取得しないことと供給できないこととの違いが欲しい。(東・西)

意見 電気柵購入費の助成は今年度も受けられるのか、また団体でも受けられるのか。(全地区)

意見 農作業による事故が増えている。故が増えている中で、JAとして事故の未然防止になるような手引きなど、対策を講じてみてはどうか。(南)

意見 規格外の出荷米米として初めての特A評価の「グローバルGAP」の他、日本版の認証や、農林水産省の指針に従った都道府県の認証の取得が要請されました。

意見 今年度も昨年同様、農産物への対応を講じてみてはどうか。(南)

意見 営農指導の取り組み方の一例として、積極的に土壌診断を進めて、診断に基づいた施肥設計の活用を推進するべきかと思うが、JAではどのように取り組んでいるのか。(本町)

意見 営農経済改革の一環として、農家所得向上に資する取り組みはありますか。

意見 営農経済改革の一環として、農家所得向上に資する取り組みはありますか。

意見 規格外の出荷米米として初めての特A評価の「グローバルGAP」の他、日本版の認証や、農林水産省の指針に従った都道府県の認証の取得が要請されました。

意見 今年度も昨年同様、農産物への対応を講じてみてはどうか。(南)

意見 営農指導の取り組み方の一例として、積極的に土壌診断を進めて、診断に基づいた施肥設計の活用を推進するべきかと思うが、JAではどのように取り組んでいるのか。(本町)

意見 営農経済改革の一環として、農家所得向上に資する取り組みはありますか。

意見 営農経済改革の一環として、農家所得向上に資する取り組みはありますか。

春の座談会出席状況 2017年4月7日(金)~19日(水)

地区名	出席人数(うち女性)	意見・要望
大根	157(39)	103
本町	111(39)	64
東	187(57)	102
南	191(68)	97
北	143(46)	93
西	275(95)	139
上	124(43)	42
本所	86(41)	4
合計	1,274(428)	644

意見 大型農業機械による事故は市内でも発生しており、農業労働災害対策委員会を設置して検討を進めています。また、春・秋の農繁期に併せて、農作業安全運動を展開し、座談会や機関紙「JAはだの」などを通じて啓発活動を行っていますので、啓発資材の工夫に取り組めます。

大根 2号機 (N2BFEF02) 2017年5月23日 16時29分 組版端末06号機 (N2DTPC06) 降版確認 5月25日・はだの1

はだの都市農業支援センター

農家と共に鳥獣被害対策へ

意見 捕獲後の獣の処分が必要で、資格があるか金ば、施策要望を行って分は、生産組合らできるというものはありますが、予算化されていりません。引き続き、処分方法も含めて、猟友会や行政に対して、地主や檻の管理者の負担軽減に

対応 猟友会の協力を得て、4月20日から6月20日までの22日間、カブスを含む鳥類の

対応 止め射しについてもJAで狩猟免許を取得し、対応はできないのか。(大根・東・南・北・西)

対応 捕獲後の獣の処分については、原則として、地主や檻(おりの)管理者が埋設するようになっていいます。止め射しは経験と技術



獣の侵入を防ぐ防護ネットを設置

なるよう、要望していきまう。鳥に関する被害が増えているが、カブスの駆除は実施していないのか。(大根・本町・南)

意見 本所に設置された予冷庫の設置規模と、今後の活用をどのように考えているのか。(全地区)

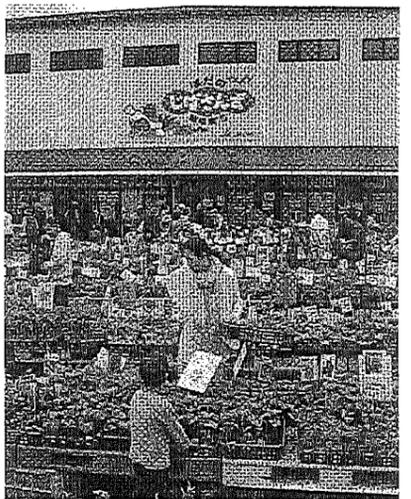
対応 2016年8月に18・2坪(60・06平方尺)の予冷庫を設置しました。これまでは、学校給食の野菜類、産地間提携品、米、花などを保存していましたが、今後は、じばさんずの利用者を増やすために、端境期や午後の荷の対策として、消費者ニーズに合った市場規格のものを買取り、保存していく予定です。

店舗販売

農産物の買取販売に向けて

意見 じばさんずで出荷規格のものを取り扱は、どのようにうことか、これまで産地農産物の買取販売を実施間提携をして全国的に広がっているのか。(全地区)

対応 買取販売は、午引を拡大して出荷者の所すが、良品質な農産物の後からの入荷量増大に努めます。現出荷者をさらに増やしたに、昨年10月の説明会で、物を買取りしている出で協力をお願いいたします。周知しました。原則市場荷者34人を登録しています。



野菜苗がずらりと並んだじばさんず

意見 じばさんずの売り上げが頭打ちになっているのではないのか。何か対策を考えているのか。(大根)

対応 昨年度の取り組みとして、販売価格表示を総額表示から外税表示に変更して、出荷者の手取り向上を図りました。また行政で行っているふるさと納税返礼品へ参入することにより、販路の拡大に努めました。今年度は、はだの丹沢梨サイダーなどの新商品を目玉に来店者を増やし、買取販売による出荷者の所得向上につなげられるように取り組みます。

経済

給湯器無償貸与の導入へ

意見 JAでは、協同者は既存でもプロパンを人住宅でも給湯器の無償貸与を切り替えた場合、JAから切り替えた場合、無償で交換すると推進を推進していることには認識しています。JAでも、既存物件の給湯器無償貸与を実施しては、個人住宅には給湯器の無償貸与があるが、他の業種へも、既存物件の給湯器無償貸与を実施しては、い。 (南)

対応 以前のJAでシテナンスを無料を実施させていたたいておりま

対応 「アサンセンター」という業者と業務提携をしており、施行後に1回、定期的にメンテナンスを無料で実施させていたたいておりま

対応 事故につながる恐れもありますので、消防署などに確認し問題が無ければ改善する方向に進めます。

生活福祉

人間ドックの助成とは

意見 人間ドックの助成はがきも無い方はJAの助成について説明特別助成7000円の助成が有ります。(南・西)

対応 人間ドックの助成額には異なりませんが、助成しない65歳以上の素野市助成が受けられなくなりました。これにより、3000円、JAはだの3090円で受診できます。2014年度からJAはだので行う予防接種の受診料金は、基本額となっており、年度を過ぎてしまつた方にはお渡ししていません。自己申告となりますので、お忘れのないよう申請をお願いいたします。



長寿記念品を贈呈

意見 インフルエンザ予防接種は、秦野市内の医療機関で受診してはしい。(南・西)

対応 インフルエンザ予防接種は、秦野市内の医療機関で受診してはしい。(南・西)

意見 人間ドックの助成額には異なりませんが、助成しない65歳以上の素野市助成が受けられなくなりました。これにより、3000円、JAはだの3090円で受診できます。2014年度からJAはだので行う予防接種の受診料金は、基本額となっており、年度を過ぎてしまつた方にはお渡ししていません。自己申告となりますので、お忘れのないよう申請をお願いいたします。

葬祭

忌中払いの対応について



内覧会で展示した祭壇

意見 JAセレモニーホールはだの忌中払いをできない場合があるが、問い合わせが、できるように対応してもらいたい。また、忌中払いの料理も温かい物が用意できるようにお願いしたい。

対応 同日の葬儀がある場合や、告別式の日に通夜がある場合は、セレモニーホールで対応できないことがあります。

対応 その際は、セレモニーホールの提携店舗や本所(ふれあいプラザ)での忌中払いの手配させていただきます。温かい料理については、業者に要望いたします。

総務

役員体制の見直しとは

意見 役員選出要件に「認定農業者」または「実践的能力者」(組合の行う事業または、法人の経営に実践的能力を有する者)とあるが説明をしてほしい。また、役員年齢制限はあるのか。(大根・南・北・西・上)

意見 「認定農業者」または「実践的能力者」は、JAおよび系統機関、また、年齢制限は役員(組合の他の法人の)就任時70歳とされているが、役員・管理職経験者、部す。なお、認定農業者や、非常勤理事の役割が増えると思うが、役員報酬も増やす必要があるのではないか。(東・南)

意見 役員体制の見直しで理事が減少すると思うが、役員報酬も増やす必要があるのではないか。(東・南)

今後の情勢に応じた総合的対応

対立 農協法が改正され、理事の過半は認定農業者または実践的能力者とするべきだと、理事の構成要件が定められました。

意見 認定農業者は年間農業所得(1経営体当たり)650万円、主たる従事者1人当たり550万円、年間労働時間(主たる従事者)1人当たり1800時間(2000時間)の水準を満たす「農業経営改善計画」を案野市に提出し、認定された経営体(個人・法人)で、現在86人が認定されています。

意見 認定農業者は年間農業所得(1経営体当たり)650万円、主たる従事者1人当たり550万円、年間労働時間(主たる従事者)1人当たり1800時間(2000時間)の水準を満たす「農業経営改善計画」を案野市に提出し、認定された経営体(個人・法人)で、現在86人が認定されています。



組合員宅を訪問して対話活動

訪問日2日間で対話活動充実

意見 組合員訪問日が増え、4月27日の2日間に変更された理由は、また、どのよう周知をしたのか。(大根・本町・東・南・北・西)

対立 組合員数が毎年増加しており、職員1人当たりの訪問件数も平均で約75件と多くなっています。訪問日を2日間に変更することによって、訪問する職員の人数を増やし、対話活動の充実した組合員訪問日を指していきたいと考えています。

また、27日に変更になった理由は、また、どのよう周知をしたのか。(大根・本町・東・南・北・西)

役員体制の整備について

JAはだのでは次期役員改選から、役員定数と理事の選出方法を見直すとともに、営農経済事業の体制強化を図ります。

- (1) 常勤役員理事執行体制
現在の組合長、専務、信用・共済事業担当常務の3人体制から、新たに営農経済事業担当常務を設置し、4人体制とします。
- (2) 役員定数
役員数は現在43人(理事36人・監事7人)ですが、30人(理事25人・監事5人)に減員します。
- (3) 役員選出方法
①理事…区域推薦18人(区域選考16人、選考委員会選考2人)
区域以外推薦7人(選考委員会選考:実務経験者2人、女性5人)
※区域配分された理事数の過半は認定農業者または実践的能力者とする。
②監事…区域推薦3人(区域選考3人)
区域以外推薦2人(選考委員会選考:実務経験者1人、員外者1人)

組織教育

対立 組合員宅を訪問して対話活動が充実した理由は、また、どのよう周知をしたのか。(大根・本町・東・南・北・西)

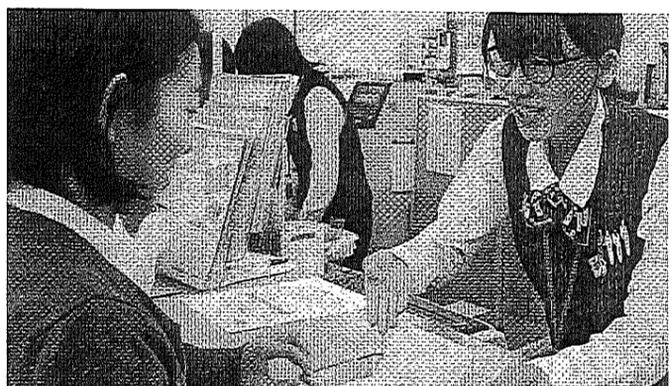
意見 カレンダーや総会資料を今までの内部役員が配布していたが、今後は職員による個別配布になるのか。(大根・西・上)

対立 生産組合の負担を増やさないよう、紙面作りの感性が評価され、県表彰を受賞されたのだからと思う。今後組合員は、健全な経営を営んでいるかを知ることが出来るのか。(東・北)

健全な経営を約束

対立 貸出金について405億円のうちリスク管理債権は約6億円で、リスク管理債権比率は約1.5%です。これらの貸倒引当金や保全できており、適切な回収に努めています。貸出金残高約1億で公表しています。

対立 貸出金について405億円のうちリスク管理債権は約6億円で、リスク管理債権比率は約1.5%です。これらの貸倒引当金や保全できており、適切な回収に努めています。貸出金残高約1億で公表しています。



丁寧な接客を心掛ける窓口担当

対立 2017年5月9日から着手し、事務所については18年5月7日オープンを予定しています。なお、駐車場などの外構工事は18年9月に完成予定です。

意見 直売所などの併設については、専門家を含め研究をすすめてきましたが、県道拡幅後に別途設置について検討することになりました。

対立 金融共済窓口の増設は、時間外労働の低減を図るため、営業時間の変更を行うこととしました。なお、経済・相談業務は今まで通り午前8時30分から午後5時まで対応いたします。また、ATM取扱時間についても変更をさせていただきます。ご理解ください。

意見 組合員数は増加しているが貸出金や正組合員戸数が前年より減っているのはなぜか。(大根・北・西)

対立 多額の出資を返されていた正組合員が相続脱退となり払い戻されているためです。また、戸数も減少しています。現在、正組合員世帯の複数加入を中心に正組合員加入促進運動を実施しております。